

**ポーラ美術館の新たなシンボルが誕生！ 日本の現代彫刻を代表する青木野枝氏が制作
森に溶け込む高さ4メートル・直径5メートルのアート作品**

青木野枝氏による屋外大型彫刻の制作作業 ご取材のお願い

**制作作業公開：4月23日(火)～25日(木)11時～17時 / 一般公開：4月28日(日)9時～
ポーラ美術館（神奈川県・箱根）**

拝啓 平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ポーラ美術館（神奈川県・箱根）は、当館のコンセプト「箱根の自然と美術との共生」を象徴する新しいシンボルとして、彫刻家・青木野枝氏（1958年生まれ、東京都出身）による高さ4メートル、直径5メートルの屋外大型彫刻《雲谷/仙石原》（もや/せんごくはら）をポーラ美術館の敷地内に設置し、4月28日（日）から公開します。

設置場所は、地上1階レベルにある屋外スペースで、エントランスから展示室へ入場する際に、国立公園の豊かな自然林を背景に臨みながら鑑賞することができます。常設にあたり、4月21日（日）～27日（土）の間、青木氏ご本人による制作・設置作業を行います。

つきましては、4月23日(火)～25日(木)の各日11時～17時の間、制作作業をメディアの方々に公開します。当日は青木氏へのインタビューも可能です。作品は大中小の3つのグループで構成され、3日間とも部材(計51個の鋼材)を溶接して作品を組み立てる一連の作業をご覧いただけます。23日(火)は大グループの作業を、24日(水)と25日(木)は中および小のグループの作業を中心に行う予定です。(荒天中止、少雨決行)

青木氏は、現代日本を代表する彫刻家で、鉄を作品の主たる素材としながら、大気中の水の循環に代表される、見えないものの流れや移ろいの表現に取り組んでいます。《雲谷/仙石原》は、雄大な空と豊かな森の間を媒介するように柔らかく、しかし、しなやかさをもってたたずむ作品で、青木氏の鋭い感性をこれまで以上にダイナミックに表現する意欲作です。「箱根の自然と美術との共生」をコンセプトに掲げてきたポーラ美術館では、自然と私たちとを密接に結び付ける新たなシンボルとして、《雲谷/仙石原》を設置することを決定しました。

なお、20年以上にわたって青木氏とその芸術に関心を寄せ続けてきた美術ジャーナリスト、三田晴夫氏と青木氏による対談を、5月3日(金)14時～15時にポーラ美術館のロビーで行ないます。こちらもご取材可能ですので、ご希望の方は、広報事務局までご連絡ください。

ご多忙の折とは存じますが、是非この貴重な機会をご取材賜りますようお願い申し上げます。 敬具

屋外大型彫刻《雲谷/仙石原》の取材に関して

作業の進行状況により、各日の作業内容が変更となることがございます。予めご了承ください。

野外での作業のため、荒天の場合は作業を中止します。少雨の場合は決行します。

当館にて作業風景の写真および動画を撮影しますので、後日、提供可能です。

作業は溶接が中心になります。溶接作業を長時間眺めると目に危険がありますので、ご注意ください。作家およびスタッフが危険のないようご案内しますので、ご案内に従っていただきますようお願いいたします。

記

【作業公開日時】4月23日(火)～25日(木) 各日11時～17時(少雨決行、荒天中止)

【作業場所】ポーラ美術館 1階 屋外スペース(神奈川県足柄下郡箱根町仙石原小塚山1285)

【受付場所】ポーラ美術館 1階 総合受付

【ご取材可能項目】

彫刻制作作業風景(以下、各日の作業予定内容)

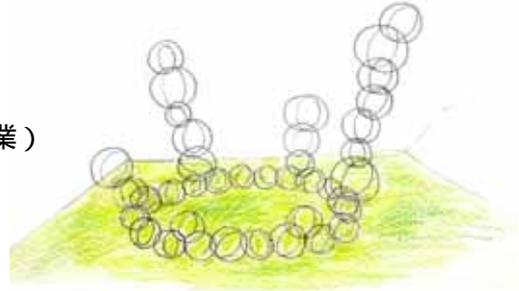
23日(火):大グループの溶接(単管足場を組んで作業)

24日(水)、25日(木):中と小のグループの溶接

青木野枝氏へのインタビュー

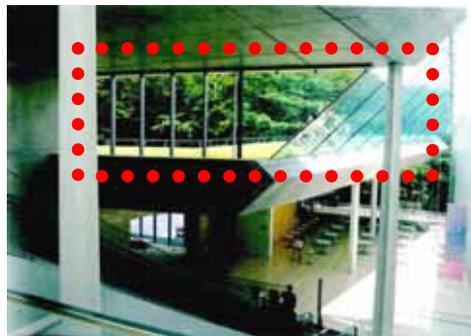
美術館担当者へのインタビュー

完成した彫刻の撮影(28日(日)9時以降)



設置する彫刻(一部)のイメージ

《雲谷/仙石原》の設置場所(1階屋外スペース)について



青木野枝氏について

1958年、東京都生まれ。1981年、武蔵野美術大学造形学部彫刻学科を卒業、1983年、武蔵野美術大学大学院造形研究科(彫刻コース)修了。東京都在住。

1980年代より鉄を素材にした作品を制作、発表、現在に至るまで精力的に活動を続ける。工業用の鉄板を自ら溶断して切り出し、それらを溶接して作品に作り上げる。従来のひとつの「塊」としての彫刻という概念から解き放たれ、作品が置かれる空間そのものを変える力を持つ「線」の彫刻を発表、日本の現代彫刻の新しい形を確立した。1997年より版画をスタート、現在にいたるまで10を超えるシリーズを制作した。制作活動の他、鉄そのものの面白さ、自分の手で創ることの意味を参加者が体感できる小学生を中心とした鉄を使ったワークショップも多数開催。地方活性化のアートイベントでは作品を置く場所の住民との関係性を重んじ、地元定期的に足を運び、田植え、他の行事に積極的に参加している。

なお、2013年4月19日(金)～5月6日(月・祝)の間、大原美術館(岡山県・倉敷市)の大原家旧別邸有隣荘にて、「青木野枝 ふりそそぐもの 有隣荘」を公開します。これは、有隣荘の独自の空間に、鉄を素材にしながらも軽やかな青木作品のエッセンスを凝縮して展覧するものです。



画像提供協力:ハシモトアートオフィス
撮影者:Lee Ansoo

<ポーラ美術館へのアクセス>

電車・バスご利用の場合

- ・JR小田原駅、小田急線箱根湯本駅より箱根登山鉄道「強羅駅」下車後、施設巡りバスにて13分「ポーラ美術館」下車
- ・JR小田原駅、小田急線箱根湯本駅より湖尻・桃源台行バスで「仙郷楼前」下車後、施設巡りバスにて2分「ポーラ美術館」下車

お車ご利用の場合

- ・東名御殿場ICより乙女峠経由、仙石原・小塚山まで約20分
- ・東名厚木ICより小田原厚木道路、箱根湯本・宮城野経由、仙石原・小塚山まで約65分

青木野枝氏による屋外大型彫刻の制作作業 取材申込書

制作作業の都合上、お手数をおかけいたしますが、本用紙にご記入の上
4月22日(月)午前中までに上記 FAX までご返信くださいますようお願い申し上げます。

取材を希望する

4月23日(火) 来場時間 時 分頃

4月24日(水) 来場時間 時 分頃

4月25日(木) 来場時間 時 分頃

| | | | |
|-----|---|-----|----|
| 貴社名 | | | |
| 媒体名 | | | |
| 部署名 | | | |
| ご芳名 | (計 名) | | |
| ご住所 | 〒 | | |
| 連絡先 | TEL | FAX | |
| | 荒天中止など緊急を要する場合、ご連絡させていただくことがございます。 差し支えなければ携帯電話番号などをご記入願います。 緊急連絡先： | | |
| 撮 影 | スチール | VTR | なし |
| 通信欄 | 5月3日(金)の対談イベントを取材ご希望の場合は、その旨をご記入ください。 | | |

< この件に関するお問い合わせ >

ポーラ美術館広報事務局 (共同 PR 内): 増田、小椋、三井

TEL 03-3575-9823 / FAX 03-3574-0316 / メール s-masuda@kyodo-pr.co.jp